

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第二種漁港 倉橋漁港 港整備交付金事業に伴う業務委託（本浦地区）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	Bor. 3	調査位置	広島県呉市倉橋町	北緯	34° 06' 07.3650"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所		調査期間	令和4年12月12日～令和4年12月14日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コピ定者	ボーリング責任者
孔口標高	CDL -12.87m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総削孔長	18.00m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	東邦D-1		エンジン	ヤンマーNFD-13K	
ポンプ	東邦BG-3B				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日
											深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	採取方法			
1	-14.87	2.00	腐植物混じり粗砂	腐植物混じり粗砂	Usc	暗灰			細礫や粗い砂混り粘土、水分多くゆるい泥状。0.00~1.00mまでシウォールチューブを油圧の突きこみで泥を採取。抜け落ちて全ては取れなかったが30~40cm程度採取できた。粗い粘土混り砂		1.40	1	1	2	1.00	3-1	◎	比重大粒度液性塑性	12/12
2	-15.57	2.80	粘土混じり砂	粘土混じり砂		暗灰	rd1		粒径不均質な砂に有機分を含む細粒分が混じる。全体に細かい。		1.70	1	1	3	2.15	3-2	◎	比重大粒度	
3						暗灰			細礫混りの粗い砂		2.42	3	4	10	2.42				
4			礫混じり砂	礫混じり砂	Us1		rd3		-4.00mあたりから有機混りで色調が暗い茶色 -5.00~6.70mの間、所々で有機の砂質粘土を10cm程度挟む		3.15	3	3	6	4.15	3-3	◎	比重大粒度	
5						黒茶					3.42	2	1	3	4.42				
6	-18.87	6.00	礫質粘土	礫質粘土	Uc	黒茶			礫は約2mm~5mm程度で粘性強く有機質を含む粘土。		4.15	7	6	19	4.42				
7	-19.57	6.70							粗い砂質土。細礫混り時々20mmくらいのが混じる。		5.42	3	2	4	6.15	3-4	◎	比重大粒度液性塑性	
8			礫混じり砂	礫混じり砂	Us2	暗青灰	rd3				6.15	2	10	14	6.42				
9									粘性を持った礫混り砂質土。マサ模様は入っていない。粘性を持った砂質土状態とあらい砂の互層状。		7.15	2	9	21	8.15	3-5	◎	比重大粒度	
10	-22.57	9.70				暗青灰					7.42	2	9	10	8.42				
11											8.15	7	4	3	9.42				
12			礫混じり砂	礫混じり砂	Ls1	灰	rd3		-12.00mあたりから黄灰混りの灰色		9.42	9	5	6	10.15	3-6	◎	比重大粒度	12/14
13											10.15	7	3	7	11.15				
14						黒茶			-13.90~14.30mで黒茶色の礫混り有機砂質粘土を挟む。		11.15	2	13	28	11.42				
15	-27.37	14.50	崖錐堆積物	崖錐堆積物		茶灰			マサがぐしゃぐしゃになった砂質土状		12.42	3	7	17	12.42				
16	-28.47	15.60									13.15	3	7	7	13.15				
17			花崗岩	花崗岩	Gr	茶褐灰			粒の粗い軟岩 部分的に硬質な未風化礫が混じる。		13.42	3	2	3	14.15				
18	-30.87	18.00									14.42	5	10	10	15.15				
19											15.42	30	20	50	16.15				
20											16.31	60	60	150	16.31				
21											17.10	32	18	50	17.10				
											17.22	50	50	150	17.22				
											18.05	50	50	90	18.05				
											18.14	90	90	90	18.14				